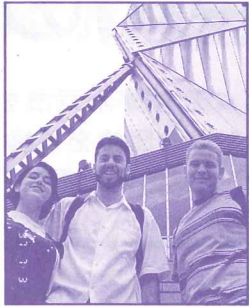


少年少女たちの 姉妹都市交流

アメリカ合衆国の西岸、カリフォルニア州アナハイム市。ディズニーランドのある都市として知られています。この都市と水戸市とが国際親善姉妹都市となってから20年余りがすぎました。その間、多くの人々が二つの都市を行き来しましたが、今回はその中でも将来を担う少年少女たちの交流を紹介します。

アナハイムから水戸へ

1985年アナハイム市からはじめての短期留学生が来水しました。以来、13年間に20名の学生が毎年7月上旬に訪れています。



今年は7月2日～15日の2週間に渡って、キャサリン、マシュー、エリックの3人が市民の家に滞在しました。親善大使として市長・議長への表敬訪問を行ったほか、市内の施設や東京の見学、日本の高校生活体験など、忙しい日程をこなします。また、休日をホストファミリーと過ごすことも、日本文化の楽しい体験の一つ。アメリカとは違った生活を満喫します。

水戸からアナハイムへ

1988年8月の第1回水戸市学生親善大使派遣から、今年で10年目。毎年20人の高校生・大学生がアナハイム市で約2週間のホームステイを行ってきました。今年は7月31日から8月16日の日程でした。

アナハイム市では、施設や議会などを訪問するほか、市内の学校で特別授業を受けます。日本とは内容も方法も大きく違う授業から受ける衝撃は大きなものです。家族の一員として接してくれるホストファミリーとの生活もさまざまな魅力にあふれています。

帰国後、再び海外旅行を計画したり、海外留学を志したりと、親善大使として経験したさまざまな事柄は彼らに大きな影響を与えています。

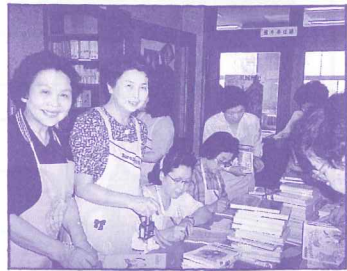
秋には、一般の訪問団の渡米が、来春にはアナハイム市からの訪問団の来水が予定されています。

Mito Sister City Volunteer

水戸ユネスコ協会

1981年設立。主婦層による図書館運動に日本ユネスコ協会が賛同、それに応える形で設立された。英会話教室、料理教室、国際理解教室、ユネスコパーティーなどを定期的に行うほか、書き損じハガキの回収運動なども行っている。国連の専門機関であるユネスコ(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization)は、知的協力国際機関を前身に1946年発足。

「私達の毎日は、たいてい家庭と職場や学校に限られてしまっているのではないのでしょうか。そうした生活に“変化”という彩りを添えるのが水戸ユネスコの活動です。各行事を通して世界の誰かの役に立っているというのも嬉しい事ですが、それ以上に多くの人々と出会い、語り、理解し合える喜びは格別なものがあります。『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない(ユネスコ憲章前文)』このユネスコの理念が実現可能に思えるひとときです」(元田)



国際ソロプチミスト水戸

1976年設立。国際ソロプチミスト(SI)は1921年にアメリカ・オークランドに誕生した世界中に3000余りのクラブと約10万人の会員を持つ女性の奉仕団体で国連の諮問団体の1つ。ありとあらゆる分野の奉仕活動を行う中には、世界中のクラブとの交流や国際協力事業が数多く含まれている。SI水戸では、特にアナハイムクラブとの交流や、ネパール・タイの子供たちを支援するフォスターペアレントを行っている。本年度の事業として、留学生との交流支援活動を予定。

「ソロプチミスト水戸クラブでは毎年、奉仕活動に継続的にリーダーシップを発揮した人、女性の地位向上や就労の機会均等に尽くした女性等から広く各賞の募集をしています。SIアメリカ財団賞として青年市民賞、訓練賞、SI日本財団賞として女性ボランティア賞、青少年ボランティア賞など全部で11部門がございます。2年期毎にコースフォーラムも開催しております。適格性・資格等の要項がございますので、地域や職場、学校からすばらしい人材を御推薦いただければ幸いです」(大津)

茨城県世界青少年コミュニケーションクラブ

(WYCCI : The World Youth Communication Club in Ibaraki)

1984年、筑波で開催された「世界青少年友情フォーラム」の語学ボランティアにより設立。100名余りの会員が、語学研修やホームステイボランティア、通訳などを行っている。特に「青年招へい事業」(JICA)、「世界青年の船」(総務庁)で来県する主にアセアン諸国の青年たちの受入れ事業に定評がある。

「あなたの持てる力をWYCCIで生かしてみませんか。私達は、茨城県を訪れる外国人の接遇援助、国際交流活動の推進と協力、そしてボランティア活動としての各種英会話研修会の指導や援助などを行っています。WYCCIは、設立以来13年の活動を通して、常に『ふれあい』を合言葉として、世界各国からの友人たちとの友情を深めてきました。さあ、次は皆さんの番です。一緒に『ふれあい』の輪を広げてみませんか」(中三川)



水戸市の国際交流団体

数多くの団体が水戸市を中心に活動しています。今回はそれぞれに特色を持つ7つの団体をご紹介します。全世界的に広がりを持つ団体の支部から十数人で活動を展開している団体までその活動内容もさまざまです。団体の方々からPR文もいただきました。



ラブニール (L'avenir)

1992年設立。主婦を中心とする12名のメンバーが、水戸市内外に住む外国人及び茨城県海外技術研修員の日本語指導を行っている。現在、25に及ぶ国々からの生徒約70人が週2回の日本語教室で学んでいる。また、日本語教育の学習会を行うなど、小さな団体ながら、緻密な活動を展開している。

「私達は、毎週日本語を通して大勢の外国人と接しています。国の違いからくる風俗、習慣、考えの違いに戸惑いながらも、要は同じ人間の個性の違いに過ぎないことを常に感じとっています。少ないメンバーがフルに活動しているグループです」(藤井)



アナハイムフレンズ

水戸市学生親善大使OB・OGにより、1992年に設立。1997年8月で会員はちょうど200人となった。これからの活動が期待される若手中心の団体。

「アナハイムフレンズは、水戸市学生親善大使の参加者によって1992年に結成された団体です。『水戸市の国際化への貢献』、『アナハイム市、ホストファミリーとの連絡や交流を深める』、『各年度の参加者達の縦横のつながりを深める』ことを目的として活動しています。しかしながら、OB・OG会の域にとどまっているのが現状です。

今年で学生親善大使の派遣も10回目となります。これを機に、目的達成のために自分達に何ができるのか答えを出したいと思います。これからのアナハイムフレンズの活躍にご期待ください」(飯田)

メサフレンドシップ

1984年設立。外国人と共にさまざまな事柄を考える「ディスカッション」、文化紹介などの「交流会」、日本語教室“J's club”など広範な活動を行っている。国際交流の枠を越えて国際協力の場へも活動を広げつつある。

「国際交流とは人と人との出会いだと思います。メサの活動では様々な出会いがあり、ディスカッションを通して意見の交換をしてお互いの理解を深め、時には共感し時には違いに驚きながらも親しく友情が生まれます。外国の人と話す事によって、日本そして日本人を見つめ直し私自身の意識も変化します。同時に世界に目が向いて視野が広がります。メサに入って刺激を受け毎日が生き生きしてきました——これは会員一人一人の実感です」(舘野)

日本ユニセフ協会水戸の会

ユニセフ(国連児童基金)は、第二次大戦後1946年、戦場となった欧州の子供達を救済するために設立された。その後、中立的立場からすべての子供が対象となり、日本も1949年から16年間当時で65億円もの援助を受けている。現在は、開発途上国だけでなく、「子どもの権利条約」のもとに、精神的な被害を受けている先進国の子供達も援助の対象となっている。基金の財源は、各国政府拠出金と民間募金で、日本ユニセフ協会が日本での募金の窓口になっている。水戸の会はその地域組織として、1989年に設立、100名余りの会員が広報と募金の活動をしている。

「ユニセフの趣旨に沿って、カード販売、歳末の街頭募金(ハンド・イン・ハンド)、映画会、講演会、コンサート、巡回写真展などを通して、日本ユニセフ協会の地域活動の窓口としての役割を果たしています。又、私たちを取りまく世界の状況についての勉強会(現在は今世紀末の様々な戦争について)も行っています」(片山)

協会役員・評議員を紹介します

新任 理事 大澤 清信
新任 常務理事 大澤 利治

新任 評議員 吉原 英男
新任 評議員 大津 洋子
新任 評議員 臼井 義春
新任 評議員 鈴木 良朝

インフォメーション

WYCCI フェスタ '97 (WYCCI13周年記念講演)

10月5日(日)午後1時~5時、市民会館にてWYCCI フェスタ '97を開催、英語を中心とする「言語」を題材に、国際交流について考えていきます。

第1部：講演『私の国際交流——アメリカとイギリスの経験を踏まえて』（拓殖大学教授 木村 忠《言語学教授》）

第2部：英語による対談

第3部：懇親会

参加費は第1部・第2部が500円（一般の方）、第3部は別途1000円となります。

お問合せは、WYCCI 事務局講演会担当 宇佐見 (TEL296・0350) まで。

第22回アナハイム訪問団員募集

第22回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問及びアメリカ行政・文化視察団が、11月下旬にアメリカ合衆国カリフォルニア州アナハイム市ほか2都市を訪問します。

訪問団員の募集は9月15日より。協会、市国際文化課のほか、各公民館などで募集要項を配布いたします。詳しくは、募集要項をご覧ください。

国際交流センターについて

水戸市備前町に（仮称）水戸市国際交流センターを建設中です。ホール、研修室、展示室、情報コーナー、交流サロンなどを備え、水戸市の国際交流の中核となります。

竣工は平成10年3月予定です。

相談受付

滞在ビザなど微妙な問題についても秘密厳守で応じています。直接来局、またはお電話でどうぞ。

『水戸の生活ガイドブック(改訂版)』について

『水戸の生活ガイドブック(改訂版)』が発行されました。緊急時の対応など、外国人の水戸での生活に役立つ情報が満載です。希望者には無料で差し上げています。

『CITY MAP MITO』発行のお知らせ

英文版水戸市地図『CITY MAP MITO』の改訂版を年内に発行いたします。ガイドブックと合わせてご利用ください。無料で提供いたします。

発行日など詳しいことはお問い合わせください。

各国資料提供について

特定の国に興味をお持ちの方、約80ヶ国について在日大使館より取り寄せた資料がございます。是非ご利用下さい。

機関紙へのご意見を募集しています。

機関紙のコーナー、特集で取り上げて欲しい記事など、何でもお寄せ下さい。

〒310 水戸市梅香1-2-20

みと好文カレッジ5F

(財)水戸市国際交流協会

TEL 029-221-8693 FAX 029-221-5793

E-mail: mcia@mito.or.jp

